

平成30年度 第2回 防犯対策分科会会議録

日 時	平成30年10月16日(火) 午後2時00分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	委員：持田、岡田、折田、西川、吉野、岡里(敬称略) 事務局：早乙女、石塚、樋下田
議 事	<p>1 平成30年度栄区セーフコミュニティ再認証式典について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から、分科会の皆様のお力により、無事10月6日(土)に行われた式典で、正式に再認証されたことの説明があり、委員の方に感謝状をお渡しした。 座長から、今回の分科会から新座長として、再認証を取得した今後5年間の防犯対策を各団体の皆様と協力して進めていきたいと挨拶があった。 <p>2 各団体における取組みの報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の各団体の取組みについて、発表・説明を行った。 事務局からは、今年度11月3日(土)に行われる栄区民まつりで、防犯ブースを出展し、栄警察・栄防犯指導員連絡協議会・フレンズ☆SAKAEの小中学生と協力して啓発を行うと説明があった。また、防犯情報メールを使つての注意喚起や、防犯灯の不具合連絡、今年度新たに作成した防犯パトロール用名札・防犯カメラシール・振り込め詐欺用ポップアップシールについて説明があった。なお、地域への協力として防犯グッズを貸与し、その数についても説明があった。 栄警察署からは、今年度から地域で活動している健康づくりのクラブへの講話や、駅前イベントで音楽隊を呼び、演奏の合間等で振り込め詐欺防止の呼びかけを行ったと説明があった。また、10月15日に本郷台駅前で幼稚園生に警察官の制服を着てもらい、啓発物品を配布してもらうことで、多くの方が受け取ってくれ、とても好評だったと説明があった。今年度の栄区民まつりでは、区や各団体と協力してやっていきたいと説明があった。 栄区消費生活推進員の会からは、毎年行っている啓発の他に、今年度は民生員と協力して戸別訪問の際に、消費生活推進員だよりを渡してもらうなどの新たな取組みを行う予定だと説明があった。引き続き地域への出前講座や回覧板を使った啓発を行っていき、より多くの方に情報が届くように活動していきたいと説明があった。 栄防犯協会からは、今年の6月に会長が変更になり、活動計画を検討していると説明があった。協会として、防犯灯の不具合の見回りはもちろんのこと、地域で行っている防犯パトロールの横のつながりを作っていきたいと考えていると説明があった。 栄区シニアクラブ連合会からは、今月行われたシニア大学というイベントで振り込め詐欺について啓発を行ったと説明があった。 栄区保護司会からは、直接振り込め詐欺対策ではないが、再犯防止として啓発を行っていることと、今後の活動継続のため、会員数増のために活動していると説明があった。 <p>3 被害者向けの振り込め詐欺に関するアンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から、6月17日(日)に行われた現地審査の資料で、被害者向けのアンケート実地を審査委員に説明したことを受け、アンケート案を作成したので内容の審議を行ってほしいと説明があった。また、配布方法については、栄警察署にご協力していただき、被害者に直接渡してもらうことになっていると説明があり、事務局案で実施することで一致した。

	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の上四半期は、栄区の振り込め詐欺の被害件数も少なく安心していましたが、ここ最近増えている。新しい啓発方法も考える必要があると意見があった。その意見について、先日行った駅前のイベントで、幼稚園生が警察官の制服を着て啓発をしてくれたが、それはとても効果的で、お年寄りだけでなく、若い世代の人も啓発物品を受け取ってくれたとのことだった。 ・この分科会がきっかけで、団体ごとに繋がりができ、講演やサロンなどで交流ができていると報告があった。他の団体からも依頼があれば出前講座やサロン等を行うとのことだった。 ・事務局から補足として、栄区内で申請している防犯カメラの設置補助申請について、今年度は3自治会町内会計6台の申請があったが、3台が補助対象になりそうだと説明があり、情報共有した。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成30年度 防犯対策分科会事務局（地域振興課）における取組 2 アンケート用紙（案） 3 町別の街頭犯罪等認知件数（平成28・29年分と平成30年8月末現在暫定値）